

# 千葉県感染症発生動向調査情報

2016年 第10週 (3/7-3/13) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		10週	9週	8週	7週
上段:患者数 下段:定点当たりの患者数 「定点当たりの患者数」とは 報告患者数/報告定点数。	小児科	18	17	18	18
	眼科	5	4	5	5
	インフルエンザ*	28	27	28	28
	基幹定点	1	1	1	1

定点	感染症名	千葉県					千葉県 2/29-3/6 9週
		注意報	3/7-3/13	2/29-3/6	2/22-2/28	2/15-2/21	
			10週	9週	8週	7週	
小児科	RSウイルス感染症		0	0	1	1	6
	咽頭結膜熱		1	2	2	9	15
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		48	56	59	54	508
	感染性胃腸炎		85	95	101	110	810
	水痘		7	3	16	7	83
	手足口病		1	0	0	1	27
	伝染性紅斑	○	8	10	2	3	73
	突発性発しん		4	7	8	15	44
	百日咳		0	0	0	0	2
	ヘルパンギーナ		0	0	0	0	15
	流行性耳下腺炎		9	6	5	12	166
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)	↓↓★★	762	897	962	1,100	7,138
眼科	急性出血性結膜炎		0	1	0	0	1
	流行性角結膜炎		2	2	3	4	12
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	3
	マイコプラズマ肺炎		1	0	0	0	5
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	1

★★:流行中 ★:やや流行中 ○:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

## 2 全数報告対象疾患(6件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	10歳未満	臨床決定	結核	男性	70歳代	IGRA検査等
結核	男性	60歳代	病原体遺伝子の検出	結核	男性	70歳代	病原体等の検出
結核	男性	70歳代	病原体の検出	結核	女性	90歳代	病原体遺伝子の検出

\*第10週は、結核6件(41)の報告があった。

※ ()内は2016年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

## 定点当たり報告数 第10週のコメント

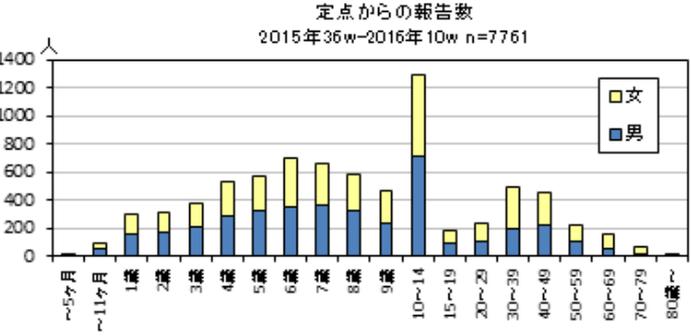
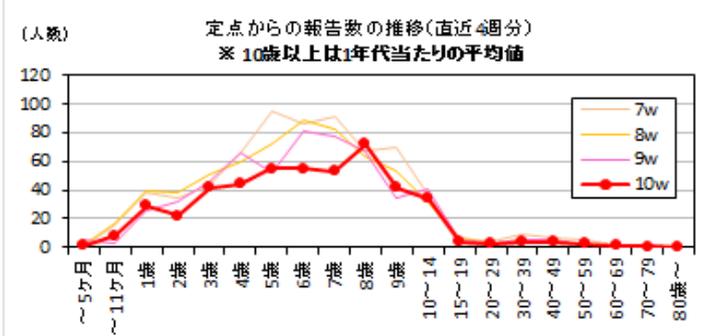
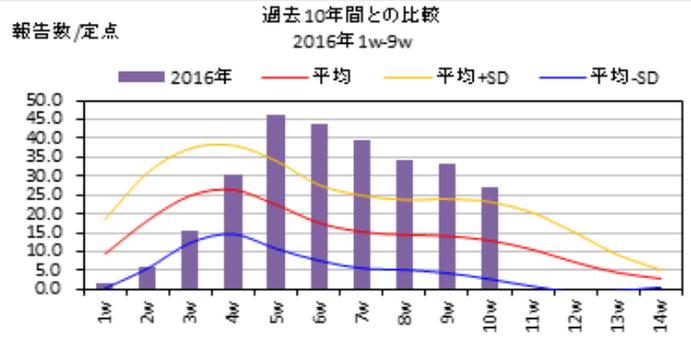
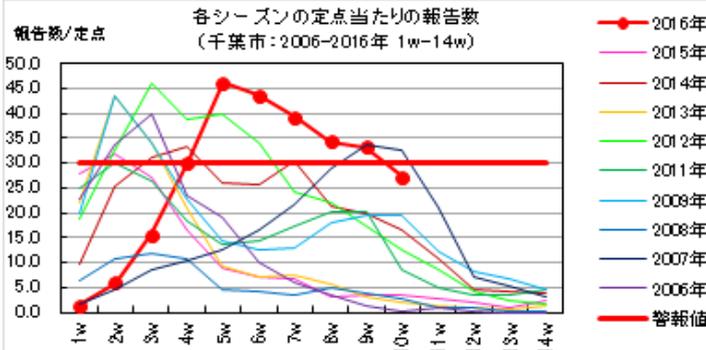
<インフルエンザ> 前週より減少し27.21となり、流行発生警報開始基準値を下回った。過去10年の同時期と比べると多い。

<流行性耳下腺炎> 前週より増加し0.50となった。過去10年の同時期と比べると多め。

■ トピック ■

＜インフルエンザ＞

全国レベルの第9週は、流行発生警報開始基準値(30.0/定点)を上回ったままで、過去9年の同時期と比べると最多となっています。都道府県別では、愛知県、愛媛県、鹿児島県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルよりやや少なめとなっています。千葉市の2016年第10週は前週より更に減少し27.21となり流行発生警報開始基準値を下回りました。流行発生警報終息基準値(10.0/定点)は上回っています。過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、中央区(37.8/定点)で最多となっており、同区の10歳代前半で最も多く、一年代当たりでは7歳及び8歳が最も多く発生報告がありました。今シーズンである2015年第36週から2016年第10週までの累積報告数(n=7761)によると、性別では男性が51.9%(4025名)、女性が48.1%(3736名)で、年齢階級別では6歳(8.97%:696名)、7歳(8.59%:667名)、8歳(7.50%:582名)の順に多くなっており、20歳未満は全体の78.57、10歳未満は全体の59.6%となっています。



＜流行性耳下腺炎＞

全国レベルの第9週現在は、過去9年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では、宮崎県、鹿児島県、佐賀県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルより多くなっています。千葉市の2016年第10週は前週より増加し0.50となり、過去10年の同時期と比べると多めとなっています。区別の発生状況は、緑区(1.25/定点)で最多で、同区の7歳で最も多く発生報告がありました。2016年第1週から第10週までの累積報告数(n=90)によると、性別では男性が55.6%(50名)、女性が44.4%(40名)で、年齢階級別では7歳(16.7%:15名)、6歳(14.4%:13名)、4歳及び5歳(13.3%:12名)の順に多くなっています。

